

被災地 珠洲に 銀輪の列



ツール・ド・のと2日目

きょう地震3ヵ月

ひやくまん穀^デブレゼンツ
第34回ツール・ド・のと4
00(同実行委、北國新聞
社主催)は2日目の18日、
輪島市から七尾市までの約
160^{キロ}で行われた。19日
で震度6弱の揺れを観測し
た珠洲地震から3ヵ月。出
場者は被災した地域の住民
と触れ合いながら海沿いを
駆け抜け「少しでも被災地
に元気を」と暑さに負けず
力強くペダルをこいだ。

【30面に関連記事】

出場者は午前7時半に輪
島市マリンタウンを出発
し、珠洲市、能登町、穴水
町を通じて和倉温泉運動公
園ヨットハーバー駐車場に
到着した。

地震で一部が崩れた見附
島をはじめ、白米千枚田や
恋路海岸などの名所をさっ
そつと走り、住民が笑顔で
手を振る場面もあった。金
沢市から参加した高山保さ
ん(61)は「地震から少しす
つ回復しているのかな、と
ほっとした。景色が良く、
楽しかった」と話した。

大会は、1906(明治
39)年に北國新聞社が主催
した県内初の自転車ロード
レースを源流とする。最終
日の19日は、和倉温泉から
氷見市や中能登町を通り、
ゴールとなる金沢港クルー
ズターミナルまでの約12
0^{キロ}を走る。



地震で被害を受けた見附島を背に疾走する出場者＝珠洲市内